

歴史公文書から見た昭和の大合併「鷺宮地区編」

久喜市公文書館 令和5年度企画展（第13回）

— 評価選別の成果と行政資料の数々 —



写真「合併記念アーチ」（昭和30年）

令和5年 10/2^月 ~ 令和6年 3/29^金

企画展開催にあたって

「昭和の大合併」に係る企画展は、令和3年（2021）度「久喜地区編」、令和4年（2022）度「栗橋地区編」に続き、今年度は「鷺宮地区編」を開催いたします。

今回は、公文書館に所蔵されている歴史公文書のほか、鷺宮総合支所及び郷土資料館に保管・収蔵されている行政文書を調査し、鷺宮地区の合併とその歩みに関わる資料を選別し、展示いたします。

戦後の日本の国家制度や地方制度は、大きな改革が行われましたが、地方自治体にとっては、国から移管された事業は財政的に大きな負担となりました。そこで、国は昭和28年（1953）に「町村合併促進法」を制定し、市町村の合併促進を図りました。

埼玉県においても「埼玉県町村合併促進審議会」を設け、昭和29年（1954）2月に合併試案を発表しました。

こうした中、鷺宮地区でも紆余曲折を辿りながら、昭和30年（1955）1月1日には鷺宮町と桜田村（一部除く）が合併し新鷺宮町が誕生しました。

本企画展を通して、市民の皆様が鷺宮地区への理解と関心を深めていただくとともに、当館の主な業務である公文書を「評価選別」し、歴史公文書として後世に伝えていく重要性を広く知っていただければ幸いです。

令和5年10月

久喜市公文書館

過去に学び未来を見つめる

久喜市公文書館

埼玉県久喜市下早見85-1（久喜市役所西側）
☎ 0480-23-5010